



学 会 通 信

第 79 号

2016 年 11 月 4 日発行

目次

2016 年度定例会総会開催通知（会告）	2
第 23 回年次大会のご案内【直前号】	3
ICoME 2016 のご報告	14
第 1 回研究会のご報告	15
第 2 回研究会のご案内【第 1 弾】	16
論文投稿のご案内	16
第 3 回理事会（臨時）議事録	17
学会費納入のお願い、登録情報更新のお願い、入会者・退会者	18

2016 年度定例会総会開催通知（会告）

正会員各位

下記により 2016 年度日本メディア学会定例総会を開催いたします。会員各位の出席をお願いいたします。なお、ご出席されない方は、事務局から送られたメールに記載されている指定の書式を用いて電子メールで委任状をお送りください（2016 年 11 月 24 日（木）必着）。

2016 年 10 月 24 日
日本教育メディア学会
会長 黒上 晴夫

記

1.日 時：2016 年 11 月 26 日（土）12:30－13:20（第 1 日目）

2.場 所：奈良教育大学

3.内 容：

（1）議案

第 1 号議案 2015 年度事業報告及び収支決算承認の件

- ①機関誌発行
- ②年次大会の開催
- ③学術交流等
- ④2015 年度収支決算（案）、監査報告

第 2 号議案 2016 年度事業計画及び収支予算承認の件

- ①機関誌発行
- ②年次大会の開催
- ③学術交流等
- ④2016 年度収支予算（案）

第 3 号議案 会則の変更について

（2）報告事項

- ①表彰「日本視聴覚教育協会・井内賞」審査経過と結果報告
- ②『教育メディア研究』特集および投稿募集の件
- ③2017 年度年次大会の件
- ④その他

以上

日本教育メディア学会第23回年次大会のご案内【直前号】

大会実行委員長 小柳和喜雄（奈良教育大学）

I 開催期日・場所等

- ・開催期日：2016年11月26日（土）～27日（日）
- ・開催場所：奈良教育大学 〒630-8528 奈良市高畑町
- ・年次大会サイト <http://jaems.jp/conference/>

後援 奈良県教育委員会 奈良教育大学

II 大会日程（予定）

○11月25日（金）

時間	内容
16:00～18:00	理事会（教職大学院棟2階演習室1）

○11月26日（土）

時間	内容
9:30～	受付
10:00～11:30	一般研究発表Ⅰ（1件あたり20分発表10分質疑）
11:30～12:30	昼食（当日は生協がお休みです。事前弁当申し込み受け付けます）
12:30～13:20	総会
13:30～15:30	一般研究発表Ⅱ（1件あたり20分発表10分質疑）
15:40～17:00	基調講演「教育メディア研究のこれまでとこれから」 黒上晴夫（関西大学、日本教育メディア学会会長）
17:30～19:30	懇親会（奈良教育大学大学生協食堂にて）

○11月27日（日）

時間	内容
9:00～	受付
9:30～11:30	課題研究発表 課題研究Ⅰ「一人一台タブレット時代における実践と評価」 コーディネータ：後藤康志（新潟大学）・中川一史（放送大学） 課題研究Ⅱ「グローバル化とメディアの活用」 コーディネータ：佐藤慎一（日本福祉大学）・岸磨貴子（明治大学） 課題研究Ⅲ「情報教育の動向と情報活用能力の育成」 コーディネータ：泰山裕（鳴門教育大学）・西端律子（畿央大学） 課題研究Ⅳ「メディア・リテラシーにかかわる授業づくりと番組作り」 コーディネータ：村野井均（茨城大学）・宇治橋裕之（NHK放送文化研究所）・中橋雄（武蔵大学）

11:30~12:30	昼食（当日は生協がお休みです。事前弁当申し込み受け付けます）
12:30~14:30	一般研究発表Ⅲ（1件あたり20分発表10分質疑）
14:45~16:45	シンポジウム「新学習指導要領と教育メディアの関係を問う」 ・登壇者：西川和孝（文部科学省初等中等教育局）、福本徹（国立教育政策研究所）、二田貴広（奈良女子大学附属中等学校）、堀田博史（園田学園女子大学） ・コーディネータ：小柳和喜雄（奈良教育大学）

Ⅲ 年次大会参加費等

		事前支払いの場合	当日支払いの場合
参加費	会員	3,000円	4,000円
	学生会員	1,000円	2,000円
	非会員	4,000円 ※幼・保・小・中・高校の 現職教員の場合 無料	5,000円 ※幼・保・小・中・高校の 現職教員の場合 無料
	学生非会員	2,000円	3,000円
冊子	・本大会では、発表予稿集は冊子にせず、PDFファイルの形で事前に学会HP上で配布することになりました。会委員の皆様事前にメールにてダウンロード先のURLを送ります。冊子体について大会会場での販売はございませんので、ご了承ください。またダウンロードが難しい方のために、当日、受付側にて発表予稿集を入れ込んだ貸借用USBを10本ほど用意しておきます。なお当日は、会場はWI-FIが用意できないため、恐れ入りますが、会場にて、要旨集をダウンロードする場合は、各自ルータをご持参いただけましたら幸いです。		
懇親会	5,000円（学生3,000円）		

※本大会においては、非会員の現職教員の場合、参加を無料と致します。できるだけ多くの参加者にご参集いただき、学会の認知や入会を促すと意図がありますので、ご了承願います。

Ⅳ 昼食について

- ・参加者各自でお願いいたします。
- ・大会期間中、大学生協は営業しておりません。そのため弁当（お茶含み1000円）の販売をいたします。事前申し込みを受け付けますので、taikai2016@jaems.jp に11月18日までにご連絡下さい。ご予約をいただいた方のお弁当は確保いたします。当日買われる方のお弁当は、なくなり次第販売終了となります。
- ・上記のように昼食に少々ご不便をおかけいたします。あらかじめご承知おきください。

Ⅴ 会場までのアクセス

- ・近鉄奈良駅、JR奈良駅から市内循環バスをご利用いただき高畑町（奈良教育大学）下車、徒歩1分
<http://www.nara-edu.ac.jp/access/> 大学への自家用車での入校はご遠慮下さい。



VI 年次大会事務局について

年次大会に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

○第 23 回年次大会事務局

奈良教育大学 教職大学院 小柳研究室

電話：0742-27-9295 メールアドレス oyanagi@oyanagi-lab.com

○第 23 回年次大会実行委員 小柳和喜雄 中村恵 西端律子 二田貴広

◎年次大会委員会 委員長 中川一史 副委員長 中橋雄 小柳和喜雄

一般研究プログラム・11月26日(土)・1日目

10:00~11:30 一般研究発表 I (1件あたり20分発表10分質疑)

◎一般研究の発表の司会は、以下の第一発表者の方に、それぞれの発表の順番にあたらないうところで、交代でご協力いただけましたら幸いです。何卒よろしくお願ひいたします。

A1 一般研究 I-1 (101 教室) 11月26日(土) 10:00~11:30

司会：山川 拓 (京都教育大学附属桃山小学校) 井口 実千代 (東京工業大学附属科学技術高等学校)

A1-1 情報活用能力の育成を意識した小学校外国語活動の提案

山川 拓 (京都教育大学附属桃山小学校), 浅井 和行 (京都教育大学)

A1-2 グローバルテクニカルリーダー(GTL)を育成する「英語」授業

21世紀に求められる資質・能力を培う「英語」授業の展開

井口 実千代 (東京工業大学附属科学技術高等学校)

A1-3 ジグソー学習を取り入れた情報活用能力の育成

—Word を使ったまとめ学習を通して—

納庄 聡 (大阪府立香里丘高等学校), 浅井 和行 (京都教育大学)

B1 一般研究 I - 2 (102 教室) 11 月 26 日 (土) 10:00~11:30

司会：高橋 敦志（立教新座中学校・高等学校）中村 武弘（南勢小学校）

B1-1 情報科「メディア・リテラシー」における新聞制作を通じた

シティズンシップ教育の実践研究

高橋 敦志（立教新座中学校・高等学校）、和田 正人（東京学芸大学）

B1-2 保護者も参加する小学校の情報モラル教育の推進と課題

中村 武弘（南勢小学校）、谷本 康（神辺小学校）、岩森 正治（玉城中学校）

B1-3 ラジオ局におけるメディア・リテラシー育成プログラムの改善

およびその実践の試み

後藤 心平（東北大学大学院情報科学研究科）、齋藤 玲（東北大学大学院情報科学研究科）、

佐藤 和紀（東北大学大学院情報科学研究科・東京都杉並区立高井戸東小学校）

堀田 龍也（東北大学大学院情報科学研究科）

C1 一般研究 I - 3 (201 教室) 11 月 26 日 (土) 10:00~11:30

司会：大久保 紀一郎（東北大学大学院情報科学研究科・島根県江津市立津宮小学校）

竹内 俊彦（東京福祉大学）

C1-1 マンガの読解力を育む学習プログラムの開発と評価

大久保 紀一郎（東北大学大学院情報科学研究科・島根県江津市立津宮小学校）

佐藤 和紀（東北大学大学院情報科学研究科・東京都杉並区立高井戸東小学校）

堀田 龍也（東北大学大学院情報科学研究科）

C1-2 マンガ要約能力の測定法における頑健性の検証実験

竹内 俊彦（東京福祉大学）、加藤 由樹（相模女子大学）、加藤 尚吾（東京女子大学）

D1 一般研究 I - 4 (206 教室) 11 月 26 日 (土) 10:00~11:30

司会：冬野 美晴（九州大学）佐々木 輝美（獨協大学）

D1-1 スピーチ訓練のためのバーチャルオーディエンスの開発と検証

冬野 美晴（九州大学）、山田 祐樹（九州大学）

D1-2 OER の質保証－事例の比較研究－

佐々木 輝美（獨協大学）、鄭 仁星（国際基督教大学）

D1-3 共感を促すデジタルゲームに関する研究：ゲームのジャンル間の比較

林 志修（東京大学大学院）

昼 食 (会員控え室 大講義室でお取り下さい) 11 月 26 日 (土) 11 : 30~12 : 30

総 会 (大講義室) 11 月 26 日 (土) 12 : 30~13 : 20

一般研究プログラム・11月26日(土)・1日目

13:30~15:30 一般研究発表Ⅱ(1件あたり20分発表10分質疑)

◎一般研究の発表の司会は、以下の第一発表者の方に、それぞれの発表の順番にあたらないうところで、
交代でご協力いただけましたら幸いです。何卒よろしくお願ひいたします。

A2 一般研究Ⅱ-1 (101教室) 11月26日(土) 13:30~15:30

司会: 木村 明憲(京都教育大学附属桃山小学校) 後藤 康志(新潟大学)

- A2-1 「学習支援カード」の継続的活用による情報活用の実践力の意識変容に対する調査
木村 明憲(京都教育大学附属桃山小学校)、高橋 純(東京学芸大学)
堀田 龍也(東北大学大学院情報科学研究科)
- A2-2 デジタル画面における文字の書体の読みにくさと系列位置効果
高保 真衣(立川市立幸小学校)、篠原 文陽児(東京学芸大学)
- A2-3 オープンな Web 会議システムを活用した遠隔型教員研修の試行
後藤 康志(新潟大学)
- A2-4 美術科のデジタルメディア活用の課題と教材の提案
臼井 昭子(東北大学 電気通信研究所, 元聖ウルスラ学院英智中・高等学校教諭)

B2 一般研究Ⅱ-2 (102教室) 11月26日(土) 13:30~15:30

司会: 三宅 貴久子(関西大学大学院) 久保田 真弓(関西大学)

- B2-1 中国の授業にみられる教師の授業観
ーシンキングツール導入4年後の授業分析ー
三宅 貴久子(関西大学大学院)、岸 磨貴子(明治大学)
- B2-2 韓国の情報倫理教育の内容体系の分析
ー日本の「情報モラル指導モデルカリキュラム表」を手掛かりにー
李 禧承(桐蔭横浜大学)
- B2-3 フィリピンにおけるスタディツアーでの学び
ーコミュニケーションのデジタルとアナログの側面に着目してー
久保田 真弓(関西大学)
- B2-4 都市部と農村部における中学生のメディアリテラシー比較
ー中国湖南省を対象としてー
胡 鑫(関西大学大学院)、黒上 晴夫(関西大学)

C2 一般研究Ⅱ-3 (201教室) 11月26日(土) 13:30~15:30

司会: 梅田 恭子(愛知教育大学) 佐藤 幸江(金沢星稜大学)

- C2-1 教員養成 ICT 活用ワークブックの開発と実践Ⅰ
梅田 恭子(愛知教育大学)、齋藤 ひとみ(愛知教育大学)、江島 徹郎(愛知教育大学)
- C2-2 教員養成 ICT 活用ワークブックの開発と実践Ⅱ
齋藤 ひとみ(愛知教育大学)、梅田 恭子(愛知教育大学)、江島 徹郎(愛知教育大学)
久保 沙穂里(NTT ラーニングシステムズ株式会社)

- C2-3 映像メディアの理解と表現に関する指導の指標の比較検証
 ー小学校国語科指導書「学習指導の展開例」に着目にしてー
 佐藤 幸江（金沢星稜大学）、中川 一史（放送大学）、中橋 雄（武蔵大学）
- C2-4 小学校教諭の ICT 利用とメディア・リテラシーに関する調査研究
 吉村 奏（早稲田大学）

D2 一般研究Ⅱ－４ (204 教室) 11月26日(土) 13:30~15:30

- 司会：佐藤 明香（京都教育大学大学院連合教職実践研究科） 菊地 寛（浜松市立三ヶ日西小学校）
- D2-1 小学校国語科における集団での音読、イメージ形成について
 佐藤 明香（京都教育大学大学院連合教職実践研究科）、浅井 和行（京都教育大学）
- D2-2 小学校社会科における学校放送と動画コンテンツを取り入れた
 グループ内での問題解決学習に関する研究
 菊地 寛（浜松市立三ヶ日西小学校）、中川 一史（放送大学）、今野 貴之（明星大学）
- D2-3 子どものコミュニケーション能力育成のための ICT 活用
 ー社会科プレゼンテーション大会の授業実践ー
 堀井 友絵（京都教育大学大学院連合教職実践研究科）、浅井 和行（京都教育大学）

E1 一般研究Ⅱ－５ (205 教室) 11月26日(土) 13:30~15:30

- 司会：菊地 紀子（帝京短期大学） 西尾 三津子（関西大学）
- E2-1 情報処理教育におけるクラスメートというメディア 3
 菊地 紀子（帝京短期大学）、篠原 文陽児（東京学芸大学）
- E2-2 共通教科情報「社会と情報」におけるアクティブラーニングの提案
 ー通信メディアの発達と恋愛行動の関係性の調査ー
 小川 もも美（京都教育大学大学院連合教職実践研究科）、浅井 和行（京都教育大学）
 余田 義彦（同志社女子大学）
- E2-3 実務家教員による授業の効果についての考察
 西尾 三津子（関西大学）、柴 健次（関西大学）
- E2-4 Web 掲示板 における批判的思考の変化
 ー大学のメディアリテラシーの授業を事例として
 張 暁紅（関西大学大学院）、久保田 真弓（関西大学）

F2 一般研究Ⅱ－６ (206 教室) 11月26日(土) 13:30~15:30

- 司会：岸 磨貴子（明治大学） 泰山 裕（鳴門教育大学）
- F2-1 コンテキストの変化から捉えるメディア・リテラシー
 岸 磨貴子（明治大学）
- F2-2 メディア・リテラシー研究における「やらせ」に対するリテラシーの位置づけに関する研究…
 村井 明日香（桜美林大学）、堀田 龍也（東北大学大学院情報科学研究科）
- F2-3 教科書分析による思考スキルを育成する学習場面の検討

泰山 裕（鳴門教育大学）、小島 亜華里（関西大学大学院）
F2-4 歴史の因果関係を現代社会の問題解決に応用させる学習メディアのデザインと評価
池尻 良平（東京大学大学院）、澄川 靖信（東京理科大学）

基調講演・11月26日（土）・1日目
15：40～17：00（大講義室）

テーマ：「教育メディア研究のこれまでとこれから」

黒上晴夫（関西大学、日本教育メディア学会長）

懇親会（大学生協食堂） 11月26日（土） 17：30～19：30

課題研究プログラム・11月27日（日）
2日目 9：30～11：30

K-1 課題研究Ⅰ「一人一台タブレット時代における実践と評価」（101教室）

コーディネータ： 後藤康志（新潟大学）・中川一史（放送大学）

- K1-1 小学校国語科説明文教材の学習者用デジタル教科書における操作とその意図の分析
中川 一史（放送大学）、佐藤 幸江（金沢星稷大学）
中橋 雄（武蔵大学）、青山 由紀（筑波大学附属小学校）
- K1-2 非同期型eラーニングにおける調整学習に関する実践の可能性と課題
荒木 貴之（武蔵野大学）・齋藤 玲（東北大学大学院）・堀田 龍也（東北大学大学院）
- K1-3 メタ学習のツールとしての1to1環境
後藤 康志（新潟大学）、片山 敏郎（新潟大学教育学部附属新潟小学校）
- K1-4 1人1台タブレット端末の利用実態の変化-市全体の小・中学校に導入した自治体を対象として-
寺嶋 浩介（大阪教育大学）、中川 一史（放送大学）
村井 万寿夫（金沢星稷大学）、小林 祐紀（茨城大学）

K-2 課題研究Ⅱ「グローバルゼーションとメディアの活用」（102教室）

コーディネータ：佐藤慎一（日本福祉大学）・岸磨貴子（明治大学）

- K2-1 ティーチング・ポートフォリオによる日本語教師間の教育実践の共有化の試み
加藤 由香里（名古屋外国語大学）
- K2-2 パプアニューギニアにおけるEQUITVプログラムの効果に関する検討
森田 裕介（早稲田大学）、杉山 竜一（株式会社パデコ）
伊藤 明德（アイ・シー・ネット株式会社）
- K2-3 留学生の位置取りを変化させるラーニングコモンズの学習環境に関する一考察
山本 良太（東京大学大学院）

- K2-4 多文化の学習者に応じた現代のソーシャルプレゼンスの理論とメディア活用
 高林 友美 (獨協大学大学院)
 ジェニファー クリスティーン クラサラ ファジャリド (国際基督教大学大学院)

K-3 課題研究Ⅲ「情報教育の動向と情報活用能力の育成」(201 教室)

コーディネータ： 泰山裕 (鳴門教育大学)・西端律子 (畿央大学)

- K3-1 小学校算数科における「情報を整理する学習活動」で想定される思考スキルの特徴
 土井 国春 (東みよし町立足代小学校)、泰山 裕 (鳴門教育大学)
 高橋 純 (東京学芸大学)、堀田 龍也 (東北大学大学院情報科学研究科)
- K3-2 学校放送番組を活用した思考スキル活用の練習
 石井 芳生 (関西大学初等部)、藤村 裕一 (鳴門教育大学)
- K3-3 ソーシャル・ビジネスを題材にした情報活用能力の育成
 村上 徹 (関西中央高等学校)
- K3-4 情報活用の実践力に関する評価問題の作成と実施
 稲垣 忠 (東北学院大学)

K-4 課題研究Ⅳ 「メディア・リテラシーにかかわる授業づくりと番組作り」

コーディネータ： 村野井均 (茨城大学)・宇治橋裕之 (NHK 放送文化研究所)
 中橋雄 (武蔵大学)

- K4-1 エンカウンター的映像表現教育プログラム：「Co-Video Dessin」
 —メディアリテラシー教育の表現論的転回の試み—
 西 光一 (京都精華大学)、森田 塁 (立教大学)、高橋 直治 (東京造形大学)
 橋爪 慧 (東京造形大学)、川部 良太 (京造形大学)、
- K4-2 メディア・リテラシーを育む小学校高学年のカリキュラム開発の試み
 —タブレット端末と学校放送番組を活用した 2 年間の実践から—
 佐藤 和紀 (東北大学大学院情報科学研究科・東京都杉並区立高井戸東小学校)
 中橋 雄 (武蔵大学)、堀田 龍也 (東北大学大学院情報科学研究科)
- K4-3 ソーシャルメディアを活用したメディア・リテラシー指導ユニット
 —西オーストラリア州「メディア制作と分析」科の事例から—
 中村 純子 (東京学芸大学)
- K4-4 『サザエさん』における時制表現の一貫性と番組制作者の役割
 村野井 均 (茨城大学)

昼 食 (会員控え室 大講義室でお取り下さい) 11月27日(日) 11:30~12:30

一般研究プログラム・11月27日(日)・2日目

12:30~14:30 一般研究発表Ⅲ (1件あたり20分発表10分質疑)

◎一般研究の発表の司会は、以下の第一発表者の方に、それぞれの発表の順番にあたらないうところで、
交代でご協力いただけましたら幸いです。何卒よろしくお願ひいたします。

A3 一般研究Ⅲ-1 (101 教室) 11月27日(日) 12:30~14:30

司会：小林 祐紀(茨城大学) 植田 恭子(大阪市立昭和中学校)

- A3-1 ネットワークを介して協働的に行う家庭学習の実際と児童の意識 (2)
ー夏季休業中の実施状況と児童の意識ー
小林祐紀(茨城大学)、佐藤 幸江(金沢星稷大学)
村井 万寿夫(金沢星稷大学)、中川 一史(放送大学)
- A3-2 タブレット端末を活用した学習における思考プロセスの可視化
ー産官学連携 京都 ICT 教育構築プロジェクトにおける取組ー
久保 泰雄(京都市立西京高等学校附属中学校)、村上 正行(京都外国語大学)
飯山 将晃(京都大学)、中塚 智尋(京都大学)、森村 吉貴(京都大学)、美濃 導彦(京都大学)
- A3-3 中学校国語科における3年間を通じたタブレット活用授業実践の分類と
生徒らの能力形成に関する検証
植田 恭子(大阪市立昭和中学校)、豊田 充崇(和歌山大学)
- A3-4 学習指導要領改訂期の小学校国語科教科書における
文学教材の映像メディアの理解と表現に関する分析
石川 等(身延町立原小学校)、中川 一史(放送大学)
中橋 雄(武蔵大学)、佐藤 幸江(金沢星稷大学)

B3 一般研究Ⅲ-2 (102 教室) 11月27日(日) 12:30~14:30

司会：時任 隼平(関西学院大学) 浅井 和行(京都教育大学)

- B3-1 プロジェクト学習における対話の変容とオンライン協同ツールの利用に関する研究
時任 隼平(関西学院大学)
- B3-2 電子メールを用いた海外ボランティア活動の学習サポートの検討
関本 春菜(関西大学大学院)、久保田 賢一(関西大学)
- B3-3 ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー教育のルーブリックの開発
浅井 和行(京都教育大学)
- B3-4 海外フィールドワークでのリフレクションにおける学生の意識と行動変容
鳥井 新太(関西大学大学院)、久保田 賢一(関西大学)

C3 一般研究Ⅲ-3 (201 教室) 11月27日(日) 12:30~14:30

司会：村野井 均(茨城大学) 中村 恵(畿央大学)

- C3-1 「母と子のテレビタイム」におけるテレビを3次元に見る手がかりの分析
村野井 均(茨城大学)、藤井 とし子(茨城大学)
- C3-2 小学校体育科「跳び箱運動」における動画とタブレット端末の活用と評価

浅井 勝（板橋区立上板橋第四小学校）、今野 貴之（明星大学）、中川 一史（放送大学）

C3-3 幼児期の遊びとメディア

中村 恵（畿央大学）

C3-4 平成26年度の放送法改正後に制作された学校放送番組のもたらす教育現場への影響について
—NHK制作の学校放送番組「未来広告ジャパン！」を事例に—

上 智樹（関西大学大学院）、黒上 晴夫（関西大学）

D3 一般研究Ⅲ—4 (204 教室) 11月27日(日) 12:30~14:30

司会：大西 誠（愛知淑徳大学）川上 治美（慶應義塾大学）

D3-1 ワークショップと映像制作実習

大西 誠（愛知淑徳大学）

D3-2 大学図書館におけるメディア・リテラシー育成のための映像制作プログラムの開発

島田 貴司（筑波大学図書館情報メディア研究科）

鈴木 佳苗（筑波大学図書館情報メディア系）、西岡 貞一（筑波大学図書館情報メディア系）

D3-3 アニメーション制作を通じた世代間交流学習

川上 治美（慶應義塾大学）、宮田 義郎（中京大学）

D3-4 3D映像の機能性を活かした英語教材の試作

柴田 隆史（東京福祉大学）

E3 一般研究Ⅲ—5 (205 教室) 11月27日(日) 12:30~14:30

司会：石川 勝博（常磐大学）川瀬 基寛（十文字学園女子大学）

E3-1 携帯メールの代替としてのLINE

石川 勝博（常磐大学）

E3-2 モバイル端末に対応したeラーニングシステムの開発

鈴木 祐（NHK学園高等学校）、森山 了一（NHK学園高等学校）

大泉 由香（NHK学園高等学校）、小椋 光彦（NHK学園高等学校）

寺岡 浩平（NHK学園高等学校）、中澤 匠吾（NHK学園高等学校）

E3-3 タブレット端末を利用したクイズ式デジタル教材の開発

川瀬 基寛（十文字学園女子大学）

E3-4 極微小資料の光学顕微鏡撮影による3次元デジタルアーカイブ化（その2）

—作成手順とデータ形式の検討—

野村 正弘（駿河台大学）、井上 智史（駿河台大学）

住田 功太朗（富士通エフ・アイ・ピー）、白石 行広（富士通エフ・アイ・ピー）

宇梶 勝男（富士通エフ・アイ・ピー）

F3 一般研究Ⅲ—6 (206 教室) 11月27日(日) 12:30~14:30

司会：吉岡 有文（立正大学）亀井美穂子（椋山女学園大学）

F3-1 日本科学映画の生みの親 太田仁吉の思索と実践

吉岡 有文（立正大学）

F3-2 映画教育論と言語活動の意味作用 — クリスチャン・メッツの映像言語論再考 —

市川 昌（江戸川大学）

F3-3 大学および地域連携による複数ワークショップ協同開催の試み

亀井美穂子（椙山女学園大学）、宮下十有（椙山女学園大学）、

宮田義郎（中京大学）、鳥居隆司（椙山女学園大学）、加藤良将（椙山女学園大学）

F3-4 「限界集落」というメディア：大学生のフィールドワークのトポスとして

久保田 賢一（関西大学）

シンポジウム・11月27日（日）・2日目

14：45～16：45

テーマ「新学習指導要領と教育メディアの関係を問う」

登壇者

西川 和孝（文部科学省初等中等教育局）

福本 徹（国立教育政策研究所）

二田 貴広（奈良女子大学附属中等教育学校）

堀田 博史（園田学園女子大学）

コーディネータ

小柳 和喜雄（奈良教育大学）

国際会議 ICoME2016 開催報告

国際会議 ICoME2016 を “Building relationships and a sense of community in a digital society” というテーマのもと、2016年8月18日から20日に京都外国語大学にて開催しました。今回、10カ国から270名の参加者がありました。予想をはるかに上回る多くの方にご参加いただきましたので、会議の運営においては、いろいろ問題もあったと思います。どうかご容赦ください。

初日には、基調講演として C. M. Reigeluth 先生に “The Learner-Centered Paradigm of Education and Training” というタイトルで講演していただきました。新刊である “Instructional Design Theories and Models” の Volume IV において提唱されている Learner-Centered Paradigm についてお話していただき、インストラクショナルデザインの新しい観点を提示していただきました。

2日目には、ICoME Supporting Organizations’ Session として、日本教育メディア学会会長の黒上先生、日本教育工学会副会長の鈴木先生、韓国教育メディア学会 (KAEIM) 会長の Byungro Lim 先生、華南師範大学の Kedong Li 先生、ハワイ大学の Bert Kimura 先生に、各国の教育工学分野や学会の現状についてお話いただきました。今後、日本、韓国、中国、ハワイの研究交流をさらに進めていくきっかけになったと思います。

コンカレントセッションでは92件の発表、ラウンドテーブルでは53件の発表、合計145件の発表が行われました。コンカレントセッションでは、各国の研究者によるさまざまな研究発表がなされ、ラウンドテーブルでは大学院生や学部生がこれまでの成果を発表しており、全体を通して活発な議論、国を越えての交流が行われ、大変いい機会になったと思います。

ICoME を契機にして、今後、参加国や参加者の連携がさらに広がり、深まっていくことが期待されます。

最後になりましたが、会議の運営におきまして、運営委員会のみなさんの多大なるご協力により、無事に ICoME2016 が成功に終わりましたこと、心より感謝申し上げます。

ICoME2016 運営委員会 委員長 村上正行 (京都外国語大学)



ライゲルース先生の基調講演



コンカレントセッションの様子

2016年度 企画委員会企画 第1回研究会のご報告

企画委員会委員長 佐藤幸江（金沢星稜大学）

企画担当者 小林祐紀（茨城大学）

テーマ：ICT時代の教育実践 ～教育実践から学ぶ、そして実践報告から実践研究へ～

2016年7月17日（日）10時から、茨城大学教育学部にて、実践発表および講演会を開催しました。今回の実践発表は、茨城大学教育学部を会場に毎月開催されている茨城県教育工学研究会・D-project 茨城に参加する高等学校および小学校教師によるものでした。現場教師、教育委員会関係者、企業関係者、教職大学院生、大学教員といった多様な顔ぶれの47名の参加者で、学び合うことができました。

坂入教諭（古河市立駒込小学校）は、3年生の児童が、市内の離れた場所にある環境が異なる別の小学校との交流学习を進める中で、タブレット端末を活用方法、そして、伝える力を育むための授業設計についての発表でした。古河市の導入したセルラーモデル（携帯電話通信網が利用可能）のタブレット端末を活用したダイナミックな総合的な学習の時間の実践の報告でした。

森戸教諭（茨城県立日立工業高等学校）は、プログラミング技術の差を解消するための個人学習について、Webサービスを活用した学習方法を考案され、自ら学ぶ学習者の育成を目指すという発表でした。Webサービスを活用した個別学習を取り入れることで、教員による解説、友人とのディスカッションなどの自由な言語活動を促進できる授業展開となっていました。

藤原教諭（古河市立大和田小学校）は、小学校におけるプログラミング学習の可能性について言及する発表内容でした。3年生国語科において、しかけのある物語をつくり、下学年の児童に発表することを学習の最終目的として、発表ツールとしてプログラミング学習を採用していました。

発表後には、コーディネータの佐藤企画委員長と発表者による質疑応答が行われました。

次に、実践発表後には、脇本健弘先生（横浜国立大学）による「実践報告を実践研究に高めるために」という演題で講演が行われました。実際の論文やご自身の研究を例に用いて、型を意識することの大切さなど、参加者にとって非常に分かりやすい講演となりました。

全体を通じて、実践研究のモチベーションが高まるような会になりました。ご参加・ご協力いただいたみなさまに感謝いたします。

佐藤幸江（金沢星稜大学）

企画委員会企画 第2回研究会のご案内<第1弾>

企画委員会委員長 佐藤 幸江（金沢星稜大学）

企画担当 久保田賢一（関西大学）

文部科学省の専門家会議は、学習を向上させるため、ICTの将来性・可能性を見据えて、学習者用デジタル教科書を2020年からの導入を提案しているが、教員はICT機器やデジタル教科書をどのように使ったらよいか十分に理解しないまま学校現場に次々と導入されてきている現状がある。

そこで、学習者用デジタル教科書の学習効果について、その原点に立ち戻って検討を加える。デジタル教科書を使う場面を精査することでどのような役割や効果が期待できるか、また、現状の学習活動との違いはどこに現れてくるのか等々、様々な立場からご提案いただき議論を深めたいと考え、シンポジウムを企画している。ぜひ、多くの皆様の参加を期待したい。

テーマ：「2020年の導入をめざすデジタル教科書は、本当に効果があがるのか？」（案）

シンポジウム登壇者：

新井 紀子（国立情報学研究所）

石戸奈々子（慶應義塾大学）NPO法人CANVAS理事長

小笠原喜康（日本大学）

山本朋弘（鹿児島大学）

司会：中橋雄（武蔵大学）

時期：2017年2月10日 14:00～17:00

場所：内田洋行新川ユビキタス協創広場

定員：100名（定員に達し次第締め切ります）

会費：1000円

論文投稿のご案内

編集委員会 委員長 鈴木克明（熊本大学）

■『教育メディア研究』一般論文募集のお知らせ

『教育メディア研究』では、上記の特集号論文の他に、一般論文も広く募集しています。〆切は特にありません。随時受け付け、その都度、査読プロセスを始めています。多くの会員の方からの投稿を期待しています。

締切：随時

第3回理事会（臨時）議事録

[日時] 2016年8月19日(金)11:40-12:40

[場所] 京都外国語大学 155 教室

[出席] 会長、理事 14 名、委任状(議長に一任)10 名、監事 1 名

会長 黒上晴夫

理事 出席:稲垣 忠、宇治橋祐之、小柳和喜雄、岸磨貴子、久保田賢一、佐藤慎一、鄭 仁星、鈴木克明、
寺嶋浩介、中川一史、永田智子、藤田稔、堀田龍也、村上正行

欠席(議長に委任):浅井和行、浦野弘、影戸 誠、後藤康志、佐藤幸江、中橋 雄、堀田博史、村野井 均、
林向達、渡辺 雄貴

監事 出席:佐々木輝美、欠席:生田孝至

事務局 山本良太

■審議事項

(1)入会者・退会者について(事務局) 【資料1】

事務局長から、前回理事会以降の入会者・退会者について説明があり、審議の結果承認された。

(2)2015 年度決算報告について(事務局) 【資料2】

事務局長から、「2015 年度 事業報告・決算報告案」が示され、審議の結果承認された。

(3)2016 年度事業計画について(事務局) 【資料2】

事務局長から、「2016 年度 事業計画・予算案」が示され、審議の結果承認された。

(4)その他

・会則の変更について(事務局) 【資料3】

これまで会費未納会員の処遇について、会則にて明確に定義されていなかったため、事務局より会則にて明示することが提案された。審議の結果、3年の未納期間によって除籍とすることが確認された。その他未納期間中の対応については、引き続き事務局にて具体案をまとめ、次回理事会にて再審議することとなった。

■報告事項

(1)国際研究委員会

次年度の ICoME はハワイにて開催されること、次々年度は韓国にて開催予定であることが報告された。なお、同委員会から次期理事会において今後の ICoME の運営について提案をしてもらうことになった。

(2)年次大会委員会

次年度年次大会の準備状況が報告された。

(3) 次回理事会について

次回理事会は11月25日(金)16:00-18:00、奈良教育大学にて開催することが確認された。

以上

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2016年度(2016年4月1日から2017年3月31日)の年会費(正会員7,000円、学生会員4,000円)が未納の方は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店(ヨンイチハチ店) 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会(ニホンキョウイクメディアガッカイ)
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生(社会人学生を除く)です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください(スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます)。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、事務局までメールアドレス、お届け先住所の情報をお送りくださるよう、よろしくお願いいたします。

【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員(16名)・・・三井 一希、森田 壘、西 光一、八木澤 史子、奥林 泰一郎、川部 良太、冬野 美晴、橋爪 慧、岩崎 有朋、鹿島 千穂、臼井 昭子、浅井 勝、森戸 篤也、高保 真衣、齋藤 ひとみ、島田 貴司、久保 泰雄

新入会員・学生(13名)・・・久松 慶子、川上 治美、土井 国春、渡辺 友美、鳥井 新太、関本 春菜、胡 鑫、小川 もも美、上 智樹、佐藤 明香、上舘 美緒里、吉村 奏、堀井 友絵

退会者・正会員 (4名)・・・松田 實、山室 公司、吉田 誠也、二瓶 佳恵
種別変更 (1名)・・・三宅 貴久子

会員総数 428名・16団体

名誉会員：3名

正会員：371名

学生会員：54名

団体会員：6団体

購読会員：10団体

(平成28年10月22日現在)

日本教育メディア学会 事務局

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町 4-88

大阪教育大学 寺嶋浩介 研究室内

E-mail : office@jaems.jp

学会ホームページ URL : <http://jaems.jp/>

広報委員会

委員長 後藤康志 (新潟大学)

副委員長 渡辺 雄貴 (東京工業大学)

委員 岩崎千晶 (関西大学)

井ノ上憲司 (長崎県立大学)

遠海友紀 (京都外国語大学)